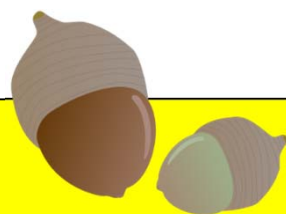


シンポジウム

武蔵野の雑木林 を未来へつなぐ

まちなかで楽しむ「里山ライフ」と
「子どもの自然体験」



江戸時代、玉川上水がひかれて武蔵野台地に里山（農地、屋敷林、雑木林）が生まれました。しかし、都市開発にともなってこれらの緑は激減し、武蔵野市内の雑木林は、「独歩の森」をはじめ、わずかに点在するだけになりました。武蔵野の雑木林を私たち市民が楽しみながらどうしたら未来へとつないでいけるのか。他地域の事例を交えながら皆で考えましょう。

とき：**2月12日（月・祝）**
午後2時～4時30分
（1時30分開場）

ところ：**武蔵野芸能劇場 小ホール**
（三鷹駅北口 徒歩1分）



境山野緑地の雑木林「独歩の森」(境4丁目)

—当日のプログラム—

◆他地域の事例報告

- ・池田 干城氏（西東京市、西原自然公園を育成する会・会長）
- ・近藤 富代子氏（福生市、福生萌芽会・副会長）

◆武蔵野の森を育てる会からの報告

武蔵野の雑木林の由来、現状(独歩の森など)、展望

◆交流会(意見交換など)

●定員：50名
（申込順、事前申込が必要）

●参加費：無料

●申込み：武蔵野の森を育てる会
FAX: 0422-54-8892

Eメール: info.mnomori@gmail.com
（お名前、住所、電話番号を明記）

●問合せ：上記Eメール又は下記電話
090-5533-2316（同会・田中）



← 左：山仕事体験会に参加する小学生（西東京市）
右：「里山ライフ」の1コマ：活動前の体操（福生市）

主催：NPO法人市民まちづくり会議・むさしの、武蔵野の森を育てる会

後援：吉祥寺東コミュニティ協議会、Greenグリーン吉祥寺、コミュニティファーム、境福祉の会、市民が憩えるプレイス西通りをつくる会、ジモッピーN(ネット)、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、西久保一丁目緑をまもるまちづくり協議会、プレイス木のぬくもりプロジェクト、武蔵境活性化委員会、武蔵境商店会連合会、武蔵野市社会教育を考える会、NPO法人武蔵野農業ふれあい村、NPO法人プレーパークむさしの、農業体験農園「野菜塾さかい村」（50音順）

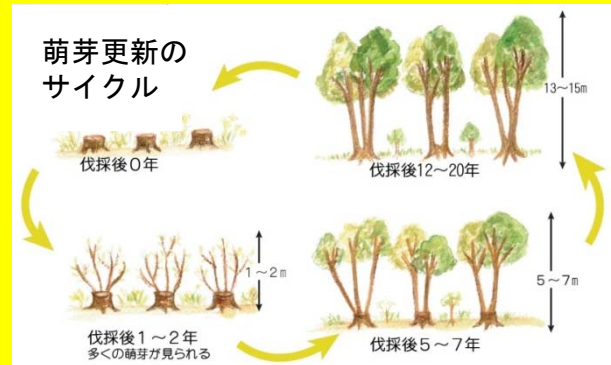
（共催：武蔵野市、後援：武蔵野市教育委員会）

武蔵野の雑木林とは？

武蔵野台地はもともとススキ野原でしたが、江戸時代中期までの新田開発に伴いコナラやクヌギを中心とする雑木林が作られました。落ち葉を堆肥(腐葉土)として利用すると共に、木を伐って薪や炭として燃料にしました。このように、農業利用や生活燃料の供給源として、木を植えて雑木林をつくったのです。これが武蔵野の雑木林と呼ばれるものです。

雑木林の木は定期的(12~20年ごと)に燃料として伐採され、そのあと切株から出る萌芽を育てるという循環で維持されていました。これを萌芽更新といいます。萌芽が育つためには十分な光が必要なため、予め決めた範囲の木をすべて伐採していました。

毎年場所を変えて順番に伐っていたので、伐った直後の草原のように明るい部分から、木が大きくなって薄暗い部分まで、さまざまな年齢の部分からなる多様な環境がモザイク状になっていました。こうした多様な環境に適応して、さまざまな生物が生息していたのです。



環境省『里地里山保全再生計画作成の手引き』より転載

報告者のプロフィール

池田 干城 氏(西原自然公園を育成する会)

西東京市立西原自然公園(約2ヘクタール)の林の半分を若い雑木林に再生。明るくなった雑木林には多様な生き物とともに、虫取りを楽しむ子どもたちも増え、市民に愛される公園となりました。2012年度東京都公園協会賞の最優秀賞を受賞。

近藤 富代子 氏(福生萌芽会)

福生市立文化の森(約1ヘクタール)の林の2,200㎡を若い雑木林に再生。伐採した木を使ったシイタケ栽培、メンバー同士の交流を兼ねて芋煮会を行うなど、「里山ライフ」を楽しんでいます。2017年度「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰。

主催団体の紹介

NPO法人市民まちづくり会議・むさしの

「武蔵野市都市計画マスタープラン」の策定(平成12(2000)年策定)に参加したことをきっかけに生まれた「まちづくり」NPO法人。広く一般市民を対象として、まちづくりについて市民が主体的に行動し、まちづくりへの参画やまちづくりに関する調査研究、イベント等を通じて、暮らしやすいまちを築き、豊かな社会の実現に寄与することを目的として活動しています。



武蔵野の森を育てる会

武蔵野市緑のまち推進課との協働により、武蔵野市立「境山野緑地(さかいさんやりよくち)」(9,188㎡)に豊かな生態系の雑木林を育てるための保全活動を行う緑ボランティア団体。2017年度東京都公園協会賞の優秀賞を受賞。境山野緑地は、日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産2016「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」(玉川上水ネット)の対象地です。



(チラシ作成2018.1)